

瀧野川女子学園中学高等学校

在校生の 座談会スペシャル

～瀧野川女子学園の“魅力”がたくさん!～

瀧野川女子学園は、1926(大正15)年の創立以来、43,000人を超える女性を社会に送り出してきました。創立以来変わらず「真に社会に貢献できる近代女性の育成」を掲げ、「創造性と起業家精神の育成」と「教育の全面的なICT化」を進めています。ここでは、中2～高2(2016年度)の在校生に、本校の魅力や将来の夢について語ってもらいました。

いままでの自分とは違う自分がある

自分らしく
生きたいと思うなら
瀧野川が
絶対おすすめです

先生方は
私たちをいつも
見守って
くれています

「自分の知らない
自分を
発見すること」
に夢中です



創造性と起業家精神を育む

夢中になれる
好きなことが
見つかる

好きなことを
楽しみながら
思い切りやりぬける

社会で
活躍・貢献できる
力が身につく

創造性教育とは、中高5年間(中1～高2)必修の本校独自の設置科目です。生徒が持つ漠然とした思いを新しい商品などの具体的な形にしていくプロダクティブな創造性の育成と、それを新しい仕事へと結びつけられる起業家精神を養うことが目的です。

中1では 「理想の街を創ろう」
「プリティッシュヒルズ」

身近なものから視野拡大。
そして、好奇心を刺激

身近な街でのフィールドワークや異文化の生活など、体感できる題材をテーマに視野を広げ、好奇心を刺激していきます。さらに、さまざまな課題にチームで取り組むことで、チームダイナミクスを高めコミュニケーション能力を育みます。写真は「理想の街を創ろう」の作品。



高1では 「商品企画コンペティション」
「プリティッシュヒルズ」

大学の先にある
キャリア意識を高める

デザイン思考を全面的に取り入れた創造性教育と実践的な国際教育とで、自分の関心とこれからの社会とのつながりを意識し、大学の先にあるキャリア意識を高めていきます。「商品企画コンペティション」では、誰もが持っている創造性を発揮できる力を培います。スタンフォード大学などで研究されてきた世界最先端のデザイン思考を取り入れ、皆で新しい商品やサービスのプレゼンにチャレンジします(写真)。一方中1で体験した「プリティッシュヒルズ」に、再び高1で訪れます。今度は、十二分に話せるようになった英語を実際に試してみる絶好の機会です。敷地内での会話は英語がルール。友達との会話や雑談も英語で挑戦します。普段の教室の中では得られない、最高の語学体験が待っています。



中2では 「エンターテインメントロボットコンテスト」
「奄美冒険旅行」

フィールドを広げ
未知のものにトライ

日常から離れたテーマに取り組む中で、未知のものに前向きに挑んでいく進取の気質を育み、楽しみながら試行錯誤する重要性を学びます。また、プレゼンテーションに本格的に取り組む始め、相手と目的を意識したコミュニケーションスキルを身につけていきます。



高2では 「事業化実習」
「ハワイ諸島修学旅行」

5年間の集大成。
キャリアビジョンの形成

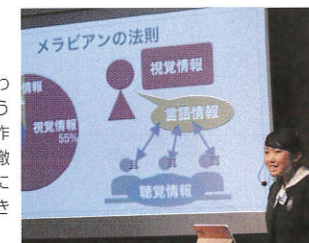
これまでの集大成として、新しい仕事を創り上げる起業のプロセスに、生徒たち自らの力で挑戦。自分の得意なことや、将来挑戦したい仕事への意識を高め具体的なキャリアビジョン形成へと導かれます。2016年の「事業化実習」のテーマは「学園生活を再デザインせよ」。高2生111名9チームが、修学旅行地のハワイ大学(全米でも有数の研究型大学)との交流の中で、自ら企画開発したオリジナル商品を販売。880ドルを売り上げ、基金への寄付に成功しました(写真)。将来どのような役割でイノベーションを起こしていくのかを考える貴重な体験を得られました。「ハワイ諸島修学旅行」では大自然と多文化社会を体験し、グローバル社会での未知への好奇心や進取の気質が大いに高まります。



中3では 「中学卒業論文発表」
「歴史旅行、イノベーションツアー」

社会や世の中に対して
向き合う機会

社会への関心が高まり始める時期に合わせ、一人ひとりが世の中に向かってどう向き合うのかを考え始めるきっかけを作ります。教員はファシリテーターに徹し、自分の意思や思いを、考えや行動につなげて広く発信していけるように導きます。写真は「中学卒業論文発表」。



瀧野川女子学園

〒114-0016 東京都北区上中里1-27-7
TEL 03-3910-6315 FAX03-3949-8839
●JR京浜東北線「上中里」駅より徒歩2分 ●東京メトロ南北線「西ヶ原」駅より徒歩8分
●JR山手線「駒込」駅より徒歩12分
<http://www.takinogawa.ed.jp>

在校生の座談会スペシャル

～瀧野川女子学園の“魅力”がたくさん!～

いままでの自分とは 違う自分がある

学年の枠を越えて
互いに認め合う校風

●瀧野川女子学園はどんな雰囲気
の学校ですか。

U・Kさん 入学前に学校説明
会に参加したり、学園祭を見学
していた時から、先生と生徒の
仲がとても良いと感じていまし
た。この雰囲気なら、苦手な教
科も楽しく勉強できるのではな
いかと思います。入学を決めました。
実際、先生と生徒との信頼関係
がとても厚いと感じます。例え
ば、私たちは学校説明会でのプ
レゼンテーションや、入学後全
員に配布されるiPad Proで学
校紹介の動画の制作を任されて
います。「あの説明、とても良
かったよ!」と先生に言っても
らうと、もっと高いレベルに取
り組みたいという気持ちが強く

なります。

S・Sさん 先生と生徒だけで
なく、生徒同士、先輩と後輩の
仲も良いです。入学式後に行わ
れる新入生歓迎会では、学年の
枠を越えてレクリエーションを
行うので、互いの名前をすぐ覚
えられ、グッと距離も縮まりま
す。学校行事、例えばスポーツ
フェスティバルでも、「さっき
の競技、がんばっていたね!」
と先輩が先輩に声をかけること
が多いです。中3で行う卒業
論文の発表会には、中1生、中
2生も出席します。他の学年の
学習成果を共有するとともに、
さまざまな行事に学校全体で一
生懸命取り組む雰囲気がありま
す。

たことで、ものづくりや企画・
開発という仕事にとっても興味を
持ちました。

R・Tさん 私は中1の「理想
の街創り」の授業がとても記憶
に残っています。グループごと
に自分たちが注目する街につい
て調査し、どうしたら住み良い
街になるのか意見を出し合いま
した。いままでは、社会のこと
について「こうなったらいいな
あ」とは思ったことはありません
が、それを実現しようと考え
ることはあまりありませんでし
た。この授業で、自分で何かを
創り出す楽しさを学びました。

思いを形にする
独自の創造性教育

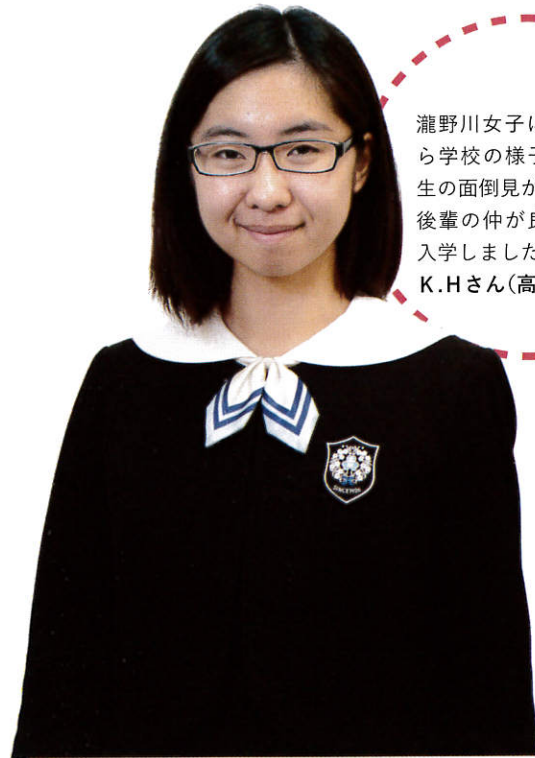
●印象に残っている創造性教育
は何ですか?

K・Hさん 高1では「理想の
乗り物」をテーマにした商品企
画の授業がありました。発想に
関するレクチャーを受けたあ
と、自分のアイデアから商品企
画へと論理立てて考えていき、
最終的にデザインをイラストに
まとめました。この授業を受け

U・Kさん 「エンターテイメ
ントロボットコンテスト」が一
番の思い出です。情報の授業で
学んだプログラミングを活か
し、人が楽しめるロボットを4
人のグループで作りました。ど
のようなロボットを作るか、そ
れを決めることがまず大変でし
た。アイデアを出し合うけれど
なかなか決まらない。メンバ
ー同士の意見がぶつかり、行き詰
まることが何度もありました。
そのロボットが昨年、機械工学
専攻の大学生や社会人が応募す
る「ロボットグランプリ」で、
大学生を抑えて準優勝を獲得で
きました。諦めずに最後まで4
人で力を合わせてがんばって本
当に良かったです。

学校説明会でのプレゼン
や動画作りから「伝えること」
が好きに。制作で苦勞する分、
伝わった時の気分は最高です。
U・Kさん (中3)

瀧野川女子に通う知人から
学校の様子を聞き、先生の
面倒見が良く、先輩・後輩
の仲が良いことから入学
しました。
K・Hさん(高2)



●現地ではか得られない
貴重な体験も多いですね。

R・Tさん 中2の奄美冒険旅
行が印象的です。私はあまり海
に行ったことがなかったので、
奄美の海があまりに美しく驚
きました。カヌーに乗るなどさ
まざまなアクティビティがあ
りましたが、体験する前からワ
クワクするものばかりでした。
奄美大島の自然やそこで暮らす
人の優しさに触れ、一生の思い
出になるぐらい楽しい旅行とな
りました。

S・Sさん 高2の修学旅行は
ハワイ島とオアフ島への旅で
す。火山トレッキングでクレ
ターを歩いたり、山頂で星を見
たり。私は星がとても好きな
ので、日本では目にすることが
できない星座を見ることができ

iPad Proを使う授業や創
造性教育の時間が、とても
楽しいです。医師という
将来の夢においても視
野が広がりました。
R.Tさん (中2)

て、とても感動しました。

K・Hさん 私は英語に苦手意
識があり、ハワイ諸島修学旅行
も、中1と高1で訪れるプリ
ティッシュヒルズも、行く前は
不安を感じていました。でも、
英語でコミュニケーションでき
る喜びを感じることができまし
た。外国人の方が、わかりやす
く話してくれる優しさに感動し
たり、現地の通貨で買い物でき
た喜びを噛み締めたり。また、
ハワイ諸島修学旅行ではハワイ

大学と交流する機会があり、創
造性教育で開発した商品を実際
に販売しました。自分たちの商
品を見てほしくて、気づいたら
自分から英語で声をかけていま
した。

自分らしく未来を切り拓く
その一歩を瀧野川女子で

●皆さんの将来の夢を教えてください。

R・Tさん 私の夢は医師にな
ることです。創造性教育の授業
を受けてからですが、どうした
ら多くの人を治療することがで
きるのか、自分で調べるように
なりました。将来につながる良
い経験になっています。中高一
貫という特別な環境を活かし勉
強もがんばります。

U・Kさん iPad Proを使った
動画作りやプレゼンテーション
を通じて、人に思いや意見を伝
えることに心が高まっています。
ある時、学校行事を取材に
来たテレビクルーの方から、映
像系の仕事に進むなら英語と数
学が大切と聞いたので、普段の
勉強にも力を入れます。

K・Hさん 将来の夢をいろい
ろ探している最中ですが、瀧野
川でのさまざまな経験がとても

中学受験前の学校説明会
で、堂々と発表する先輩
が印象的でした。医師に
なる夢のため、放課後勉
強会にも参加しています。
S.Sさん (高2)

S・Sさん 私の夢は医師にな
ることです。以前は日本で活躍
したいと思っていましたが、瀧
野川でいろいろな体験をしたお
かげで、日本国内にとどまらず、
世界で活躍できる医師へと夢が
大きく膨らんでいます。



※「第19回ロボットグランプリ」(日本機械学会主催)で準優勝を受賞したクマ型ロボット「Study help Bear」と、iPadを使って勉強をサポートしてくれる熊の家庭教師という設定です。

